【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】令和2年5月14日(2020.5.14)

【公開番号】特開2019-45773(P2019-45773A)
【公開日】平成31年3月22日(2019.3.22)
【年通号数】公開・登録公報2019-011
【出願番号】特願2017-170862(P2017-170862)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｇ　21/00　(2006.01)
Ｃ０８Ｆ　 2/00　(2006.01)
Ｃ０８Ｇ　18/10　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｇ　21/00　３１８
Ｃ０８Ｆ　 2/00　Ｃ
Ｃ０８Ｇ　18/10

【手続補正書】
【提出日】令和2年4月2日(2020.4.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
静電転写プロセスを利用した画像形成装置に使用するポリウレタン弾性体を備えるクリーニングブレードであって、
前記ポリウレタン弾性体は、ハードセグメント量が２０重量％～３１重量％未満、架橋間分子量が１０００～１５０００であって、かつ先端稜線部を含む部分に（メタ）アクリレート樹脂との混合層を含むことを特徴とするクリーニングブレード。
【請求項２】
静電転写プロセスを利用した画像形成装置に使用するポリウレタン弾性体を備えるクリーニングブレードの製造方法であって、
ハードセグメント量が２０重量％～３１重量％未満、架橋間分子量が１０００～１５０００であるポリウレタン基材を形成する工程Ｉと、
前記基材の先端稜線部を含む部分に、（メタ）アクリレート化合物を含む硬化性組成物を含浸させる工程ＩＩと、
前記基材の少なくとも含浸部分を洗浄し、前記基材の含浸部分の表面に残留した前記硬化性組成物を除去する工程ＩＩＩと、
前記基材に含浸した前記硬化性組成物を硬化させ、先端稜線部を含む部分に（メタ）アクリレート樹脂との混合層を含むポリウレタン弾性体を形成する工程ＩＶとを含むことを特徴とするクリーニングブレードの製造方法。